

みつば保育園建設検討委員会 令和4年6月2日 19:00 開始

- ・教育長挨拶
- ・委員長選出
- ・協議事項(教育次長より概要説明)

(1)みつば保育園の現状について

昭和54年に建設され、平成18年4月1日から石原・はと・田井保育所が統合しみつば保育園となる。現在施設が老朽化してきており、床暖房故障、部屋の壁や床の劣化、雨漏り、プールのコンクリートの劣化等がみられ、修繕にも多額の費用がかかり建て替えを検討するに至っている。

(2)建設スケジュール・建設場所について

建設スケジュールについては、現地で建替えか、他の場所で建替えるのかで、かなり違ってくる。仮に現地建替えであれば、以下のようなスケジュールになると思われる。

ー現地立替えの場合のスケジュール予想ー

(令和4年度)

- ① 令和4年8月 建設場所決定(現地に建て替え)
仮園舎建設場所の検討、決定 仮園舎設計委託(委託工期:令和5年3月末)
- ② 令和5年3月末 仮園舎 基本設計完了

↓

(令和5年度)

- ③ 令和5年5月 新園舎 設計委託(委託工期:令和5年10月)
- ④ 令和5年6月 仮園舎建設 工事発注(工期:令和6年3月末)
- ⑤ 令和5年10月 新園舎 実施設計完了
- ⑥ 令和5年12月 新園舎建設(旧園舎取り壊し含む)工事入札(工期:令和7年10月)
- ⑦ 令和6年3月末 仮園舎完成 完成後仮園舎にて保育開始

↓

(令和6年度)

- ⑧ 令和6年4月 仮園舎にて保育開始

↓

(令和7年度)

- ⑨ 令和7年10月 新園舎 完成
- ⑩ 令和7年12月 新保育園にて保育開始

他の場所で建替えとなり仮に民有地が候補となれば用地交渉が必要となる。また、候補地が田とかであれば農業振興地域の除外や地目変更、保育園への進入路の工事等も必要になる場合もあり、このスケジュールより3~4年位は多くかかることが想定される。参考までに、旧森小学校と旧地藏寺小学校が町有地での移転先に考えられることを説明。

説明後質疑・応答

- ・現地建替えであれば、田んぼも使用できるように考えてほしい。
- ・現地建替えなら、仮園舎の場所や費用は？
 - 田井の農村環境改善センターの奥へ仮園舎を建て、園庭はころろ広場を想定している。改善センターには調理場もあり費用が抑えられる。仮園舎は、新園舎建設後も使い続けていけるように検討中。ころろ広場にも遊具を設置し、そのまま使用できるように考えている。
- ・ころろ広場を使うのであれば、小学生などが使用しているため仕切りなどが必要だと思われる。
- ・旧森小学校に仮園舎を建設し、役場の調理場を使用はどうか。おこぜハウスはどうか。
 - 旧森小学校があったので比較的安全だと考えるが、送迎面での道路が狭いので検討が必要。おこぜハウスも道が狭すぎる。道路拡張は建設費用が高額になることが予想される。
- ・以前に建替えの話があった時に、保護者の意見としては、現在地での建替え意見が多かった。現在の場所は災害時や、なんかあったときに逃げられる場所がある。
- ・仮に地藏寺に移転すると、大雨の時などは地藏寺川が増水し危険であるし、学校と離れると送り迎えや、緊急時の迎えが大変である。
- ・前回の話が止まった経過は。
 - 場所の検討がされていなかったこと、町の優先すべき他事業が重なったため、建替えが先延ばしとなった。場所が決まれば、用地の広さが決まるので、どういった施設にできるか検討が出来る。財政的な制約もあるので、なんでも要望通り出来るものではないが、他の園も見学に行き、より良い保育園の建設を行っていきたい。他の保護者や地域の方ともお話いただいて、意見等ほしい。

19:45 終了